

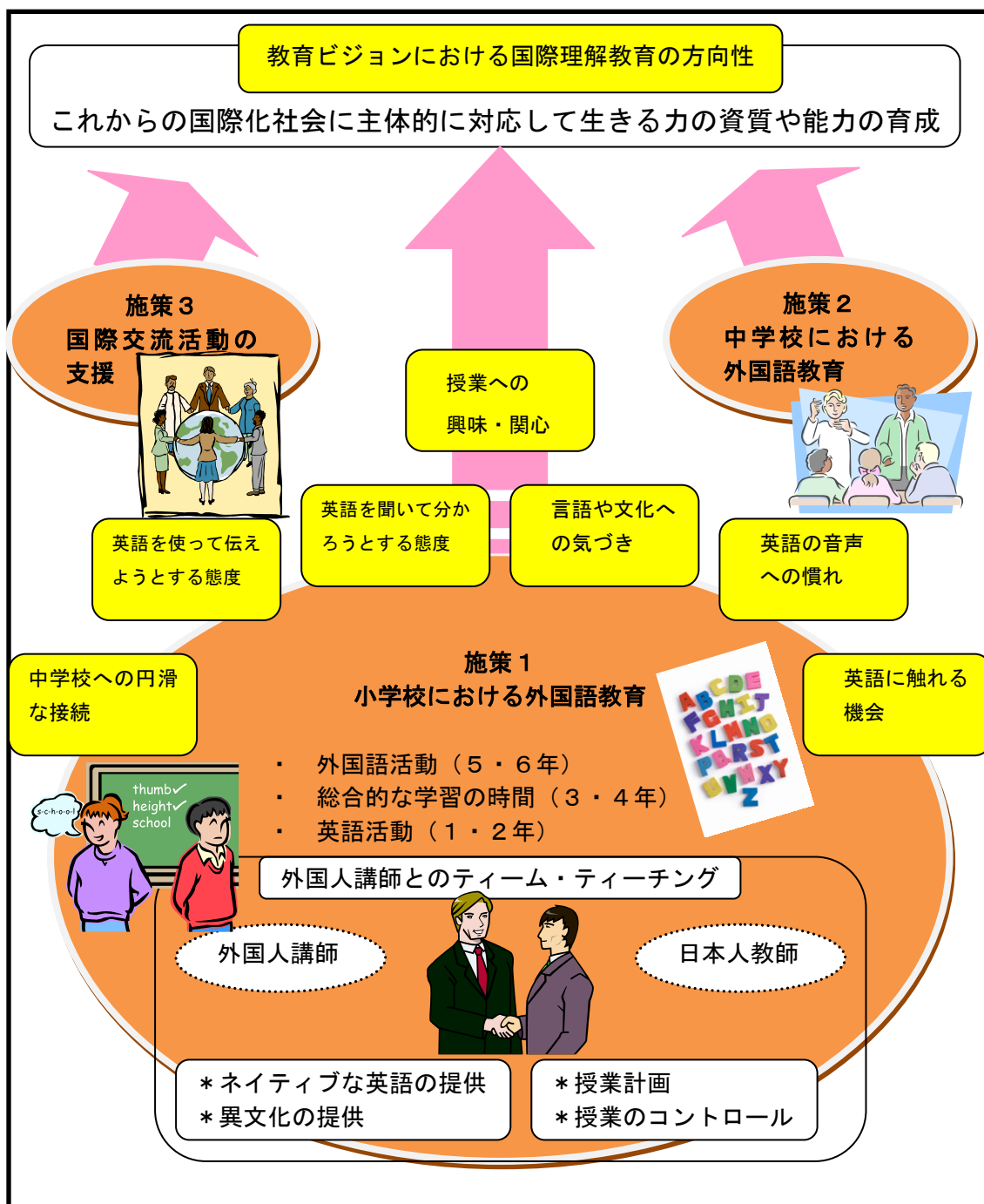
事業概要説明書 [1]		事業番号	2-2	
事務事業名	小学校外国語活動推進事業	担当部名	教育委員会	
事業開始年度	平成 6 年度	担当課名	教育情報研修センター	
実施方法	直営	担当係	—	
根拠法令等	学習指導要領（学校教育法）			
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	小学校の外国語活動や総合的な学習の時間等において、外国人講師が授業の支援をすることにより、国際理解教育や外国語活動に関する指導の充実を図る。		
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>事業対象 全市立小学校 48校</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校の教職員と外国人講師がT・T（チーム・ティーチング）による指導を行う。 ○ 1年生～4年生は1学級あたり年間7回、5年生～6年生には1学級あたり年間13回、外国人講師（全29名雇用）を派遣する。 		
	事業の必要性	<p>平成10年度改訂の学習指導要領では、小学校における英語活動は、国際理解に関する学習の一環として位置づけられ、総合的な学習の時間において各学校の判断により実施された。</p> <p>小学校での外国語教育は、グローバル化が進展する中でその必要性が高まっており、近隣諸国でも急速に導入が進められている。今後は、小学校での外国語教育を充実することにより、次世代を担う子どもたちに国際的な視野をもったコミュニケーション能力を育成する必要がある。</p>		
コスト	平成23年度(予算)		人件費	
	直接事業費 (A)	19,880 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)
	人件費 (B)	1,500 千円	正規職員	1,500 千円
	総事業費 (A+B)	21,380 千円	嘱託員	0 千円
平成23年度 直接事業費内訳	<p>報償金 19,880千円 (内訳) 8,016円(3時間)×2,480回</p>			

事業概要説明書 [2]			事業番号	2-2	
年度		平成22年度(決算)		平成23年度(予算)	
直接事業費		19,781 千円		19,880 千円	
財源	一般財源	19,781 千円		19,880 千円	
	受益者負担金	0 千円		0 千円	
	その他	0 千円		0 千円	
成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕	<p>児童が、外国語（英語）を通して、国際理解に関する内容を身に付けたり、外国語（英語）に慣れ親しみ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うなどコミュニケーション能力の素地を身に付けたりする。</p>				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている			
	[説明]	<p>平成22年度末に実施した外国人講師との授業に関するアンケート結果によると、「外国人講師との授業を楽しみにしている」割合が9割程度と高いほか、「英語の音声に慣れてきた」割合が8割程度と高く、事業の成果を得ていると考える。</p>			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段:指標の説明)	単位	数値 (上段:目標 / 下段:実績)		
			平成21年度	平成22年度	平成23年度
	中学1年時の英語検定5級の合格率	%	86	86	86
	外国語教育の充実の度合い		84	84	
	児童の授業に対する期待度	%	—	90	90
	外国人講師との授業の充実の度合い		—	88	
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>本事業は、児童に外国語（英語）を通して国際理解の充実を図るために平成6年度より進められてきた経緯があるが、本年度から新しい学習指導要領が完全実施され、外国語活動が新設されたことに伴い、外国人講師の活用がこれまで以上に求められるようになると考える。また、小学校の教員は、中学校の英語担当教員と違い、英語を通じた指導に不安を感じている。そこで、外国人講師とのチーム・ティーチングの充実を図り不安を解消し、コミュニケーション能力の素地などを養うとともに、中学校外国語科（英語）への円滑な移行にもつなげていく。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕	<p>これまでの本事業の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成6年4月 6小学校を対象に毎週実施 平成8年4月 全小学校を対象に隔週実施 平成10年4月 全小学校で毎週実施 平成16年4月 全小学校において年間35時間で実施 (3年生以上)、1、2年生は10時間程度 TTは7時間 平成21年4月 5、6年生のTTの時数を7時間から13時間に変更 				

平成23年度外国人講師の採用状況

- 1 採用数 29名
- 2 国籍 12か国
アメリカ、カナダ、中国、コロンビア、フィリピン、インド、
インドネシア、メキシコ、ニュージーランド、ロシア、スウェーデン、
トリニダードトバコ
- 3 担当校 講師1人あたり1校～5校、1校あたり年間10日～35日
- 4 職務 外国語活動の時間や総合的な学習の時間等における学級担任等の指導の支援

国際理解教育における外国人講師の役割



国の動き

「小学校学習指導要領」の改訂（平成20年3月改訂、平成23年4月完全実施）による「外国語活動」の新設

- ・ 小学校5年生と6年生を対象に年間35時間（週あたり1時間）実施
- ・ 「外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」ことを目的とする。

外国人講師の派遣時数等とアンケート調査結果

1 外国人講師の派遣時数等

学年	年間派遣時数	全授業時数
1年	7時間	10時間
2年	7時間	10時間
3年	7時間	20～25時間
4年	7時間	20～25時間
5年	13時間	35時間
6年	13時間	35時間

2 「外国人の先生との授業（外国語活動など）に関するアンケート」（小学校）の結果

設問	対象	肯定的な回答			否定的な回答
		そう思う	だいたいそう思う	小計	
① 外国人の先生との授業を楽しみにしていますか	児童	47	41	88	12
	教師	65	35	100	0
② 英語を使って聞いたり話したりすることが多いですか	児童	36	35	71	29
	教師	5	42	47	53
③ ほかにの人に英語を使って、伝えたいことを伝えようとしていますか	児童	35	33	68	32
	教師	2	51	53	47
④ ほかに人の英語を聞いて、分かるようとしていますか	児童	62	25	87	13
	教師	7	75	82	18
⑤ 英語の音声（言葉や音楽など）になれてきましたか	児童	52	31	83	17
	教師	7	78	85	15
⑥ 言葉の違いや外国の文化などに気づくようになりましたか	児童	45	36	81	19
	教師	2	65	67	33
⑦ 中学校での英語を楽しみにしていますか	児童	38	30	68	32
	教師	7	53	60	40

* 教師は児童の様子について、児童は自分自身について回答した。

* 単位（％）